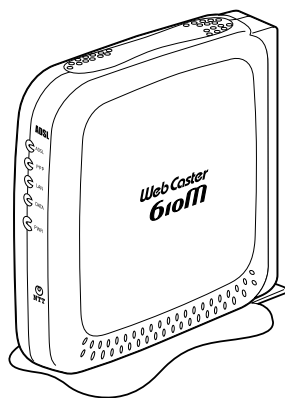


Web Caster 610M

取扱説明書

このたびは、Web Caster 610Mをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



安全にお使いいただくために必ず お読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としています。本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

警告

設置場所

- 風呂、シャワー室への設置禁止
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。
- 水のかかる場所への設置禁止
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



こんなときは

- 発煙した場合
万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 水が装置内部に入った場合
万一、内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。
- 異物が装置内部に入った場合
本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



警告

- 電源アダプタの取り扱い注意
付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードが傷んだ場合
電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 電源コードの取り扱い注意
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 破損した場合
万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

禁止事項

- たこ足配線の禁止
本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。
- 商用電源以外の使用禁止
AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。
- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

警 告

- 分解改造の禁止
本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- ぬらすことの禁止
本商品に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
漏電して火災・感電の原因となります。
- ぬれた手での操作禁止
ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意

- 異物を入れないための注意
本商品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意

設置場所

- 火気のそばへの設置禁止
本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 温度の高い場所への設置禁止
直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 不安定な場所への設置禁止
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品を逆さまに置かないでください。
- 通風孔をふさぐことの禁止
本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・ 横向きに寝かせる
 - ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける
- 横置き・重ね置きの禁止
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



注 意

禁止事項

- 乗ることの禁止
本商品に乗らないでください。特に小さなお子さまのいるご家族ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



電源

- アース線の取付
万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
- プラグの取り扱い注意
電源アダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタ（電源プラグ）の清掃
電源アダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 長期不在時の注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。



その他のご注意

- 移動させるときの注意
移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 雷のときの注意
雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 本書に従って接続してください。
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・ ほこりや振動が多い場所
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・ 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

禁止事項

- 動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

日頃のお手入れ

- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ADSL に関する注意事項

- 通信速度は、パソコンの環境や接続プロバイダ、サーバ、接続時間帯により実際の実効速度とは異なります。
- ADSL を設置している当社局舎から設置場所までが離れている場合、あるいは十分な配線設備がない場合は、十分な通信速度が出ないか、または使用できないことがあります。
- 設置場所の近くに幹線道路、線路、送電線、送信所など電波を発するものがある場合は、十分な通信速度が出ないか、または ADSL 回線による接続が途切れたりすることがあります。
- 電話回線で着信があった場合は、ADSL 回線による接続が途切れることがあります。
- 近くにガス検知器などがあると、十分な通信速度が出ないことがあります。
- 次のような場合は、速度が遅くなることがあります。
 - ・ ISDN 回線などのノイズ源がある場合
 - ・ 配線のルート変更で距離が伸びた場合
 - ・ 電話回線の音声信号にデータを重畳させている場合
 - ・ スプリッタで分離していても配線状況が悪い場合
- ADSL のサービス提供地域であっても、設備・回線等の都合により本商品をご利用になれない場合があります。
- 遠隔検針（ノーリング通信サービス）や警備保障、回線自動選択装置（ACR）等の電話回線を利用したサービスを利用されている場合、それらのサービスに支障をきたす場合があります。
- ADSL 区間の距離や設備状況、他回線からの影響、お客様宅内で接続されている通信設備（ACR 等）等の影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- ADSL によるインターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入及び情報搾取等の危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールする等の対応をお願いいたします。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
目次	11
「機能詳細ガイド」目次	13
マニュアルの読み進めかた	14
CD-ROM に収録されたマニュアルの見かた	15

1 章 お使いになる前に

1-1 セットを確認してください	1-2
1-2 各部の名前	1-3
1-3 あらかじめ確認してください	1-5
パソコンの LAN ポートについて	1-5
Web ブラウザの環境について	1-5
1-4 設置・接続の流れ	1-6
1-5 設置する	1-7
スタンドをつける前に	1-7
スタンドをつける	1-7
本商品を設置する	1-7
1-6 電話機をつなぎ、ADSL 回線に接続する	1-8
1-7 直接 ADSL 回線に接続する	1-10

2 章 パソコンのネットワーク設定

2-1 Windows® XP をご利用の場合	2-2
2-2 Windows® 2000 をご利用の場合	2-3
2-3 Windows® Me/98/95 をご利用の場合	2-4
2-4 Mac® OS をご利用の場合	2-6
2-5 パソコンの接続と確認	2-7
本商品とパソコンを接続する	2-7
本商品とパソコンの接続を確認する	2-8

3 章 インターネットへの接続

3-1 本商品の設定をする	3-2
3-2 インターネットに接続する	3-4
接続先設定を複数登録した場合	3-4

4 章 付録

4-1	故障かなと思ったら	4-2
	設置に関するトラブル	4-2
	ご利用開始後のトラブル	4-6
4-2	本商品の初期化	4-8
4-3	本商品のバージョンアップ	4-9
4-4	インタフェース	4-11
4-5	用語集	4-12
4-6	索引	4-14
4-7	仕様一覧	4-15
4-8	保守サービスのご案内	4-18

「機能詳細ガイド」目次

付属 CD-ROM には、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、15 ページを参照してください。

1. ルータ機能詳細説明

機能一覧

ルータ機能

- IP マスカレード
- 静的 IP マスカレード
- パケットフィルタリング
- ステートフルパケットインスペクション
- DHCP サーバ
- Proxy DNS
- 不正アクセス検出
- アクセスログ

UPnP

DMZ

WAN 側機能

- PPPoE ブリッジ
- 複数固定 IP サービス
- 無通信監視タイマ
- シングルユーザアクセスモード
- VPN (PPTP) パススルー

その他の機能

- 管理者パスワードの変更
- 時刻設定
- 情報表示 (装置情報、状態表示)
- ファームウェア更新

2. ブリッジモード

設定方法

フレッツ接続ツール紹介

3. 設定例

設定例

- 複数固定 IP サービスを利用するには
ネットワークゲームをするには
外部にサーバを公開するには
- < パソコンの設定 >
- ・ Windows® XP の場合
 - ・ Windows® 2000 の場合
 - ・ Windows® Me/98/95 の場合
 - ・ Macintosh® の場合
- < 本商品の設定 >
- ・ 「Web 設定」で設定する
- ファイアウォールを設定するには

4. Web 設定

「Web 設定」の使いかた

起動のしかた

メニュー画面

登録のしかた

基本設定

基本設定

接続先の選択設定

ADSL モデム設定

接続先設定

詳細設定

LAN 側設定

DHCP 手動設定

パケットフィルタ設定

静的 IP マスカレード設定

静的ルーティング設定

高度な設定

メンテナンス

管理者パスワードの変更

時刻設定

設定値の保存 & 復元

設定値の初期化

ファームウェア更新

PING テスト

情報

現在の状態

通信情報ログ

UPnP の状態

5. その他 (付録)

用語集

設定記入シート

マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

- 取扱説明書（本書）

本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

- 機能詳細ガイド（：HTML ファイル）

本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

本商品を使用して、インターネットに接続するまでの流れは、下記ようになります。

付属品の確認をします

『1-1 セットを確認してください』（ 本書 1-2 ページ）



取りつけます

『1-4 設置・接続の流れ』（ 本書 1-6 ページ）



パソコンの設定を行います

『2 パソコンのネットワーク設定』（ 本書 2-1 ページ）
パソコンを購入したままの状態でお使いの場合は必要ありません。



インターネットにつなぐための設定をします

『3-1 本商品の設定をする』（ 本書 3-2 ページ）



インターネットにつながります

『3-2 インターネットに接続する』（ 本書 3-4 ページ）

Windows® は、Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。

Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

Windows® 95 は、Microsoft® Windows® 95 operating system の略です。

Netscape®、Netscape Navigator® および Netscape® Communicator は、米国 Netscape® Communications Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Macintosh®、Mac®、Mac® OS は、米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Acrobat® Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

JavaScript® は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

付属品の CD-ROM は日本語版 OS 以外の動作保証はしていません。

付属品の CD-ROM はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

CD-ROM に収録されたマニュアルの見かた

■ Windows® をお使いの場合

- 1 CD-ROM をパソコンにセットしてください。
- 2 Acrobat® Reader を起動して「取扱説明書」のファイルを開いてください。
- 3 Web ブラウザ（Internet Explorer など）を起動して「機能詳細ガイド」のファイルを開いてください。

■ Macintosh® をお使いの場合

- 1 CD-ROM をパソコンにセットしてください。
- 2 Acrobat® Reader を起動して「取扱説明書」のファイルを開いてください。
- 3 Web ブラウザ（Internet Explorer など）を起動して「機能詳細ガイド」のファイルを開いてください。

[illegible]

- Acrobat® Reader をインストールされていない方は、付属の CD-ROM に収録されている Acrobat® Reader をインストールしてください。

1

お使いになる前に

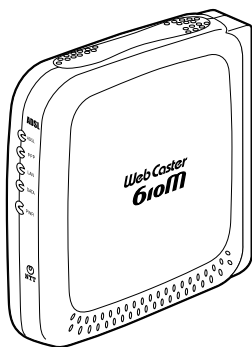
1

この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことや取りつけかたを説明します。

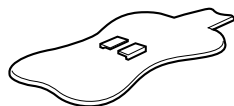
1-1	セットを確認してください	1-2
1-2	各部の名前	1-3
1-3	あらかじめ確認してください	1-5
1-4	設置・接続の流れ	1-6
1-5	設置する	1-7
1-6	電話機をつなぎ、ADSL 回線に 接続する	1-8
1-7	直接 ADSL 回線に接続する	1-10

1-1 セットを確認してください

■ 本体

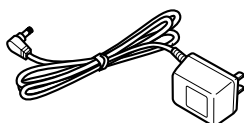


Web Caster 610M (1 台)



スタンド (1 台)

■ 付属品



電源アダプタ (1 個)



ADSL スプリッタ (1 個)



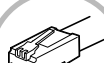
電話機コード

(長さ: 約 2 m) (長さ: 約 20 cm)

電話機コード (2 本)



(長さ: 約 2 m)

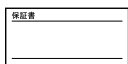


LAN ケーブル

LAN ケーブル (ストレート 1 本)



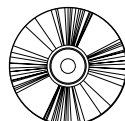
取扱説明書 (本書 1 冊)



保証書 (1 枚)



NTT 通信機器お取扱
相談センタシール (1 枚)



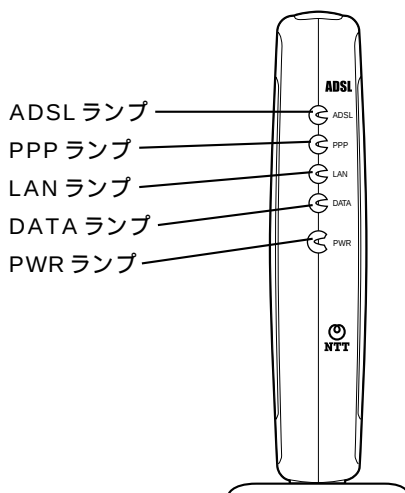
CD-ROM (1 枚)

- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- アース線は付属していません。

1-2 各部の名前

本商品各部の名前および機能を説明します。

● 前面図



【ランプ表示】

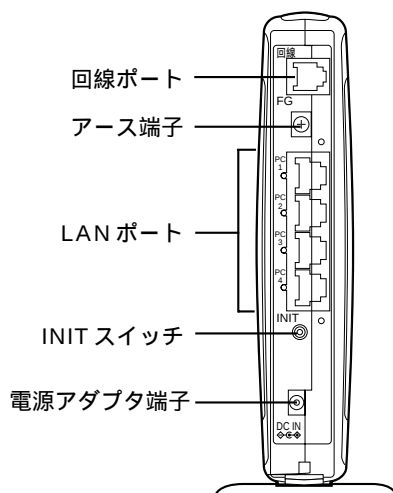
■ 前面

ランプの名称		表示（色）		機能説明
回線ポート状態表示ランプ	ADSL ランプ	緑	点灯	ADSL 回線のリンクが確立しています。
			遅い点滅	ADSL 回線の信号検出待ちです（0.4 秒間隔）。
			速い点滅	ADSL 回線の回線状態をトレーニング中です（0.2 秒間隔）。
	PPP ランプ	緑	点灯	PPP のリンクが確立しています。
			遅い点滅	PPP の認証が失敗しました（1 秒間隔）。
			速い点滅	相手先から応答がありません。
LANポート状態表示ランプ	LAN ランプ	緑	点灯	LAN ポートのリンクが確立しています。
			消灯	LAN ポートのリンクが確立していません。
	DATA ランプ	緑	点滅	LAN ポートでデータの送受信をしています。
			消灯	LAN ポートでデータの送受信をしていません。
電源ランプ	PWR ランプ	緑	点灯	電源が投入されています。
			消灯	電源が切れています。

1

お使いになる前に

● 背面図



■ 背面

名称	表示	機能説明	備考
回線ポート	回線	電話機コードを使用して ADSL 回線に接続するためのポートです。	6 ピンモジュ ラージャック
アース端子	FG	アース線を接続するための端子です。	ネジ径は 4.0 mm
LAN ポート	PC1 - PC4	LAN ケーブルを使用してパソコンと接続します (100BASE-TX / 10BASE-T)。	8 ピンモジュ ラージャック
INIT スイッチ	INIT	設定を初期化するために使用するスイッチです。	
電源アダプタ端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。	

1-3 あらかじめ確認してください

パソコンのLANポートについて

本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、LANポート（100BASE-TXまたは10BASE-T）が必要です。お使いのパソコンなどにLANポートがない場合は、100BASE-TX/10BASE-T対応のLANボードまたはLANカードをあらかじめご準備のうえ、パソコンに取り付けてください。

取り付け後は、LANボード/カードの取扱説明書に従って正しく動作することを確認してください。

LANボード/カードの詳細につきましては、各パソコンメーカーもしくは販売店にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

Webブラウザの環境について

本商品は、Webブラウザで設定を行います。

Webブラウザによる設定では、以下の点に注意してください。

- Webブラウザは、下記のバージョンに対応しています。
 - Windows® XP/2000/Me/98/95の場合
 - ・ Microsoft® Internet Explorer Ver.5.5 以上に対応
 - ・ Netscape Navigator® Ver.6.1 以上に対応
 - Macintosh® OS X/9.x/8.xの場合
 - ・ Microsoft® Internet Explorer Ver.5.0 以上に対応
 - ・ Netscape Navigator® Ver.6.0 以上に対応
- 説明に使用している画面表示は、お使いのWebブラウザやお使いのOSバージョンによって異なります。
- お使いのWebブラウザやWebブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Webブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。
- 回線の状況や設定によっては、設定内容がWebブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。



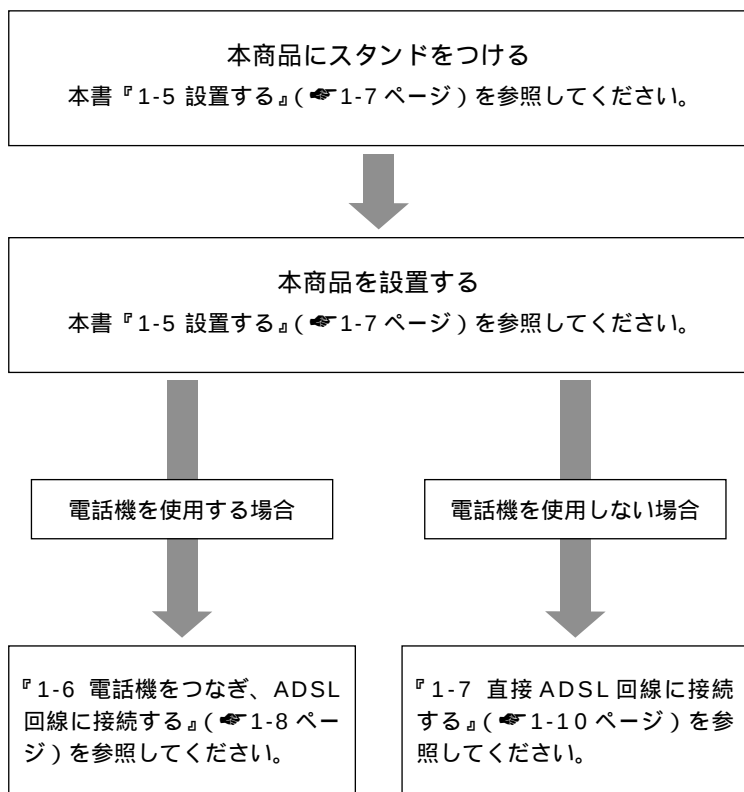
確認がすみしたら、1-6 ページへお進みください。

1

お
使
い
に
な
る
前
に

1-4 設置・接続の流れ

本商品の設置の仕方から、本商品を電話機やスプリッタと接続するまでの流れを説明します。

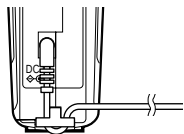


ADSL 回線で電話機（または FAX）を併用するには、ADSL スプリッタが必要です。ADSL スプリッタは付属のスプリッタをご使用ください。

1-5 設置する

スタンドをつける前に

本商品の電源アダプタ端子に電源アダプタのコネクタを差し込んでください。



接続したコードはフックにかけてご使用ください。
この時電源アダプタはコンセントに差し込まないでください。

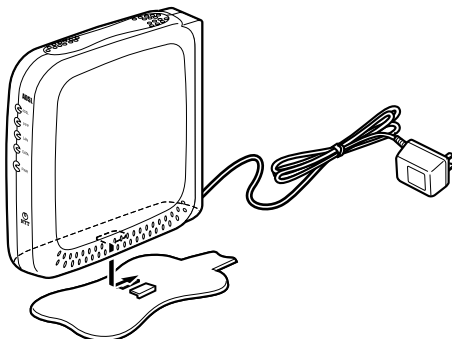


警告

付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。

スタンドをつける

図のように、本商品本体にスタンドをつけて縦置きでご使用ください。

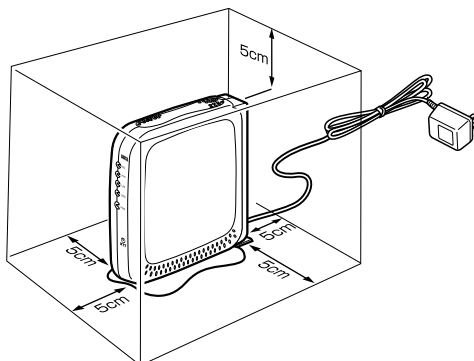


注意

本商品は横置きでの使用はできません。

本商品を設置する

本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。



注意

換気が悪くなると本体内部の温度が上がり、故障の原因になります。

冷蔵庫やTV等、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。
ADSL回線が切れたり、十分な速度が出ないことがあります。

1

お使いになる前に

電話機をつなぎ、ADSL 回線に接続する

電話機を併用しない方は、本書の『1-7 直接 ADSL 回線に接続する』(1-10 ページ)に進んでください。

- 1 アース線を使用して、本商品のアース端子を電源コンセントのアース端子に接続する

アース線は付属されていませんので、あらかじめご用意ください。



警告

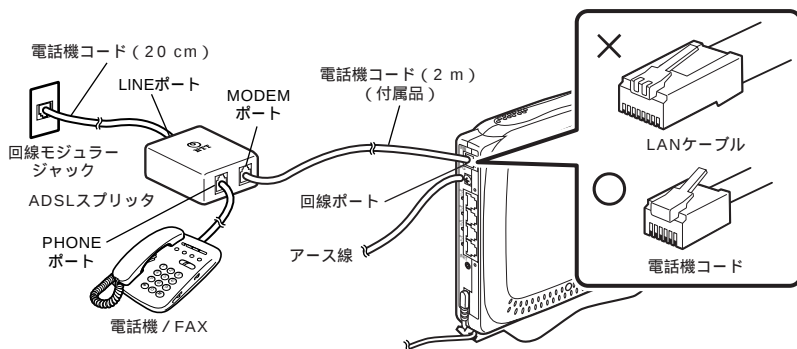
アース線は安全のため必ず接続してください。

- 2 付属の電話機コード (2 m) を使用して、本商品の回線ポートと ADSL スプリッタ (MODEM ポート) を接続する

- 3 付属の電話機コード (20 cm) を使用して、ADSL スプリッタ (LINE ポート) と ADSL 回線のモジュラージャックを接続する

- 4 現在電話機またはFAXに接続されている電話機コードを使用して、電話機と ADSL スプリッタ (PHONE ポート) を接続する

接続するコネクタを間違えないようにしてください。



- 5 電源アダプタを壁などのコンセントに接続する

- 6 ADSL ランプが速い点滅を開始し、数十秒後点灯に変わることを確認する
ADSL ランプが点灯に変わらない場合は、本書の『4-1 故障かなと思ったら』(4-2 ページ)を参照のうえ、対処してください。



正常に点灯することを確認したら、2-1 ページへお進みください。



お知らせ

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ADSL スプリッタは、付属のスプリッタを使用してください。それ以外のスプリッタを使用した場合、正常に動作しないことがあります。
- 電話機は、ブランチ接続しないでください。
- ADSL 回線の開通工事が完了していない場合、ADSL ランプは遅い点滅のままで点灯しません。
- ADSL スプリッタはイラストと形状が違う場合があります。
ADSL スプリッタの「LINE」にはADSL 回線を、「PHONE」には電話機またはFAX を、「MODEM」には本商品をそれぞれ接続してください。
ADSL スプリッタによって表示が異なる場合があります。その場合はスプリッタに付属された取扱説明書に従ってください。

1-7 直接 ADSL 回線に接続する

電話機を併用しない方は、本商品を直接 ADSL 回線に接続します。

1 アース線を使用して、本商品のアース端子を電源コンセントのアース端子に接続する

アース線は付属されていませんので、あらかじめご用意ください。

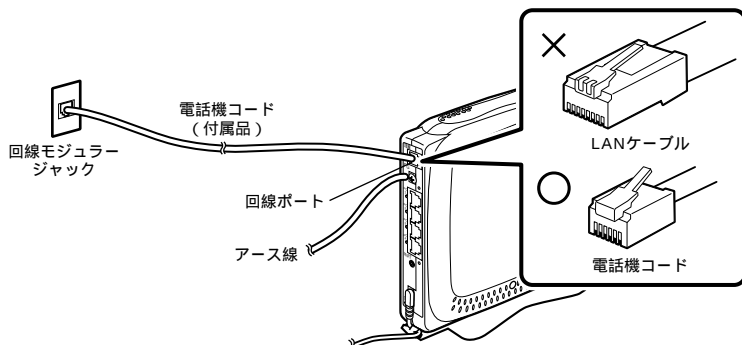


警告

アース線は安全のため必ず接続してください。

2 付属の電話機コード（2 m）を使用して、本商品の回線ポートと ADSL 回線のモジュージャックを接続する

接続するコネクタを間違えないようにしてください。



3 電源アダプタを壁などのコンセントに接続する

4 ADSL ランプが速い点滅を開始し、数十秒後点灯に変わることを確認する

ADSL ランプが点灯に変わらない場合は、本書の『4-1 故障かなと思ったら』（4-2 ページ）を参照のうえ、対処してください。



正常に点灯することを確認したら、2-1 ページへお進みください。



お知らせ

- ADSL 回線の開通工事が完了していない場合、ADSL ランプは速い点滅のまま点灯しません。

2

パソコンのネットワーク 設定

インターネットに接続するためには、パソコンのネットワークの設定が必要です。本商品に接続するパソコンに必要な設定について説明します。

(本章の設定画面は、DHCP サーバ機能を使用する場合の設定例です。DHCP サーバは工場出荷時に「使用する」になっています。)

2-1	Windows® XP をご利用の場合	2-2
2-2	Windows® 2000 をご利用の場合	2-3
2-3	Windows® Me/98/95 をご利用の場合	2-4
2-4	Mac® OS をご利用の場合	2-6
2-5	パソコンの接続と確認	2-7

2-1 Windows® XP をご利用の場合

Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

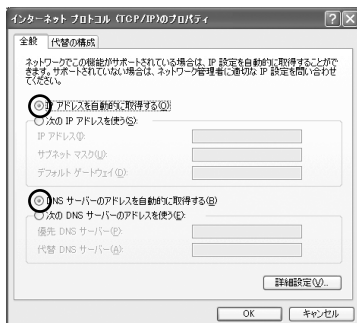
1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする

5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する

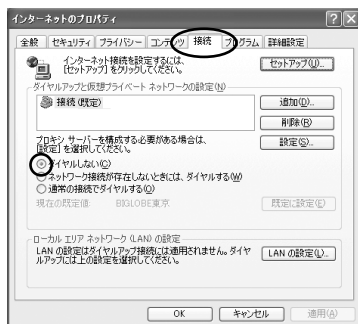


6 [OK] をクリックする

7 [OK] または [閉じる] をクリックする

8 [戻る] をクリックし、[ネットワークとインターネット接続] 画面の [インターネットオプション] をクリックする

9 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は [ダイヤルしない] を選択する



10 [OK] をクリックする



続けて 2-7 ページへお進みください。



お知らせ

- 本書では、Windows® XP の通常表示モード (カテゴリー表示モード) を前提に記述しています。

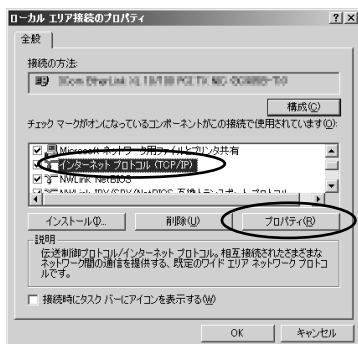
2-2 Windows® 2000 をご利用の場合

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

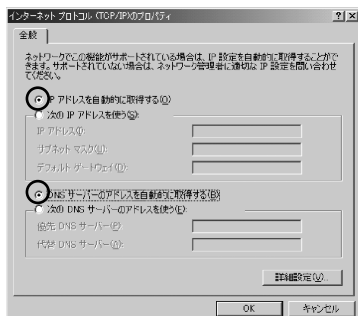
2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする

3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



5 [IP アドレスを自動的に取得] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する

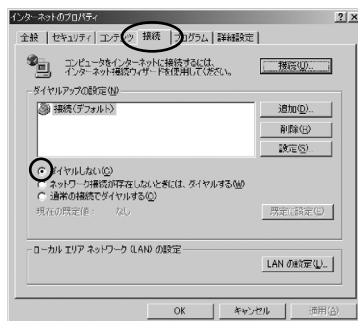


6 [OK] をクリックする

7 [OK] をクリックする

8 [戻る] をクリックし、[コントロールパネル] 画面の [インターネットオプション] アイコンをダブルクリックする

9 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は [ダイヤルしない] を選択する



10 [OK] をクリックする

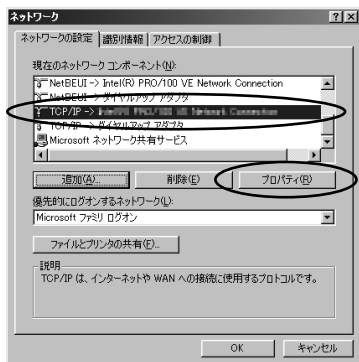


続けて 2-7 ページへお進みください。

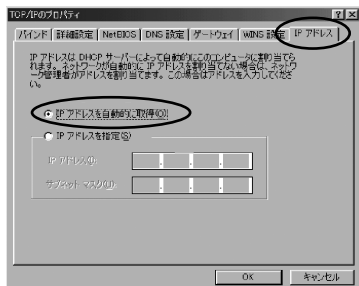
1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

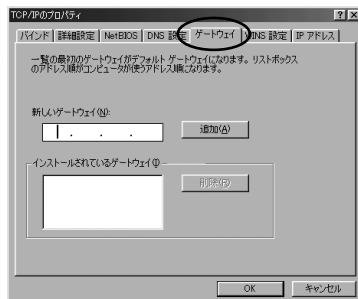
3 リストの [TCP/IP->お使いの LAN カード (またはお使いの LAN ボード)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



4 [IP アドレス] タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得] を選択する



5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



6 [DNS 設定] タブをクリックし、[DNS を使わない] を選択する



7 [OK] をクリックする

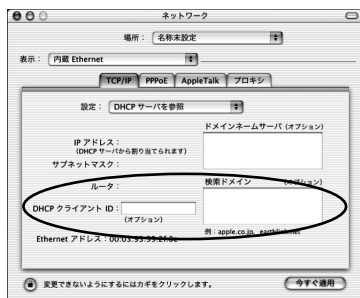
8 [OK] をクリックする

9 [インターネットオプション] アイコンをダブルクリックする

2-4 Mac® OS をご利用の場合

■ Mac® OS X をご利用の場合

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- 2 [表示] を [内蔵 Ethernet] にし、[設定] を [DHCP サーバを参照] にする
- 3 [DHCP クライアント ID] と [検索ドメイン] を空白にする



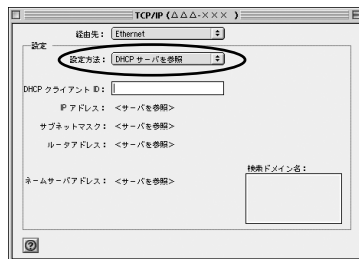
- 4 [今すぐ適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

➡ 続けて 2-7 ページへお進みください。

■ Mac® OS 9.x/8.x をご利用の場合

- 1 アップルメニューの [コントロールパネル] の [TCP/IP] を開く
- 2 [経由先] を [Ethernet] にする
- 3 [設定方法] を [DHCP サーバを参照] にし、[DHCP クライアント ID] と [検索ドメイン名] を空白にし、ウィンドウを閉じる



画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。

- 4 確認のダイアログが表示されたら [保存] をクリックする
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

➡ 続けて 2-7 ページへお進みください。

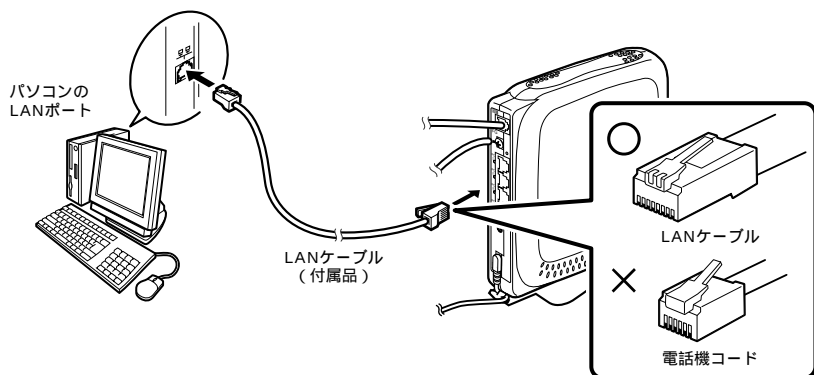
2-5 パソコンの接続と確認

本商品は、フレッツ・ADSLを使用して、高速インターネット接続を可能とするADSLモデム内蔵のブロードバンドルータです。

本商品に接続した複数のパソコン間で通信することも可能です。

本商品とパソコンを接続する

- 1 付属のLANケーブル（ストレート）を使用して、本商品のLANポート（4ポート）とパソコンを接続する



お知らせ

- パソコンを複数接続する場合は、ご利用のLANボードまたはLANカードに対応したケーブルをご利用ください。

- 2 本商品の電源を入れて、ランプの状態を確認する

LANランプが点灯します。

ランプの表示が上記と異なる場合は、本書の『4-1 故障かなと思ったら』（➡4-2ページ）を参照のうえ、対処してください。

HUBを使用した場合も、本商品のLANランプが点灯すれば正しく接続されています。詳しくは、ご使用のHUBの取扱説明書をご覧ください。

2

設定
パソコンのネットワーク

本商品とパソコンの接続を確認する

本商品のIPアドレスは、初期状態「192.168.1.1」に設定されています。IPアドレスを変更する場合は、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」(HTMLファイル)の「4. Web 設定」の「LAN側設定」をご覧ください。

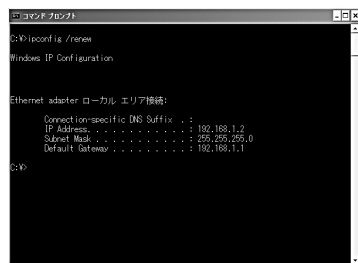
■ IP アドレスの確認 - Windows® XP の場合

1 本商品のLANランプが点灯することを確認する

2 パソコンの[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]を実行する

3 [コマンドプロンプト]の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、[Enter]キーを押す

4 [Ethernet adapter ローカル エリア接続:]が表示され、IPアドレスが「192.168.1.x」になっていることを確認する(xは1を除く任意の数字です)



5 「exit」と入力し、[Enter]キーを押す



続けて 3-1 ページへお進みください。

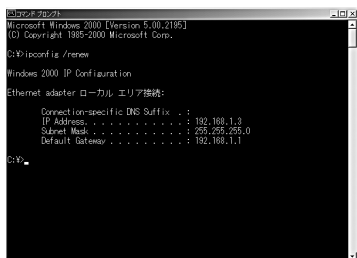
■ IP アドレスの確認 - Windows® 2000 の場合

1 本商品のLANランプが点灯することを確認する

2 パソコンの[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]を実行する

3 [コマンドプロンプト]の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力して[Enter]キーを押す

- 4 [Ethernet adapter ローカル エリア接続:] が表示され、IP アドレスが [192.168.1.×] になっていることを確認する (×は1を除く任意の数字です)



- 5 「exit」と入力し、[Enter] キーを押す



続けて 3-1 ページへお進みください。

2

パソコンのネットワーク設定

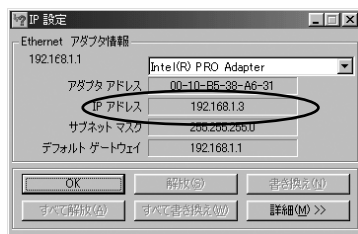
■ IP アドレスの確認 - Windows® Me/98/95 の場合

パソコンの電源が入っている場合は、いったんパソコンの電源を切ってから確認してください。

- 1 本商品の LAN ランプが点灯することを確認する
- 2 パソコンの [スタート] から [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「winipcfg」と入力後、[OK] をクリックする
- 3 下の画面が表示されたら、▼ をクリックし、お使いの LAN カード / ボードを選択する



- 4 IP アドレスが [192.168.1.×] となっていることを確認する (×は1を除く任意の数字です)



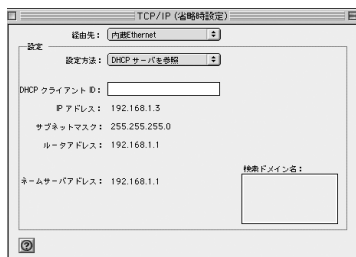
- 5 [OK] をクリックする



続けて 3-1 ページへお進みください。

■ IP アドレスの確認 - Macintosh® の場合

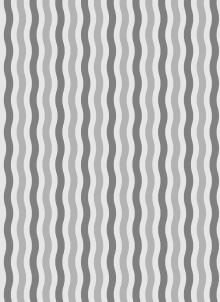
- 1 本商品の LAN ランプが点灯することを確認する
- 2 アップルメニューから [コントロールパネル] → [TCP/IP] を選択する
- 3 IP の設定画面が表示されたら、IP アドレスが「192.168.1.×」になっていることを確認する（× は 1 を除く任意の数字です）



画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。



続けて 3-1 ページへお進みください。



3

インターネットへの 接続

ブラウザを使ってインターネットに接続するための設定を行います。

3

- 3-1 本商品の設定をする 3-2
- 3-2 インターネットに接続する 3-4

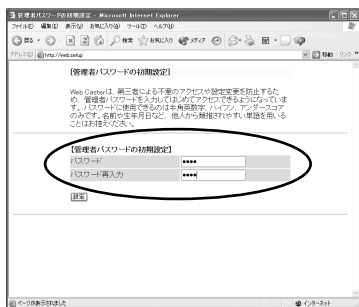
3-1 本商品の設定をする

Internet Explorer や Netscape Navigator® などのブラウザを使って本商品の基本的な設定をすることができます。

あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器を接続しておきましょう。

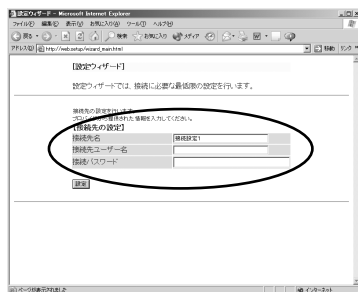
1 Web ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、Web 設定のページを開く
本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。
(工場出荷時は 192.168.1.1 です。)
例: http://192.168.1.1/

2 管理者パスワードの初期設定を行う
画面に従ってパスワードを設定してください。



3 [設定] をクリックする

4 プロバイダまたは当社の設定情報を見ながら、設定する



接続先ユーザー名:

当社/プロバイダの資料に従って
[ログインID](ユーザー名)を入力します。

例: xxxxx@xxxxx.ne.jp

接続パスワード:

当社/プロバイダの資料に従って
パスワードを入力します。

5 [設定] をクリックする

以降画面に従って Web ブラウザを終了させてください。



続けて 3-4 ページへお進
みください。



お願い

- お使いの Web ブラウザの設定で JavaScript® を有効にしてください。
- Web ブラウザや OS の設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく操作できないことがあります。



お知らせ

- 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- Web 設定の画面のデザインは変更になることがあります。
- パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

パスワード _____

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。

忘れた場合は、本商品の初期化を行って設定を消去してください。(4-8 ページ)

3-2 インターネットに接続する

インターネットに接続して接続状態を確認してみましょう。

Web 設定で接続設定が完了してから外部のホームページを開くと、自動的に登録された接続先に接続します。

- 1 Web ブラウザ (Internet Explorer など) を起動する
本商品の ADSL ランプが点灯していることを確認してから起動してください。
- 2 外部のホームページを開く

接続先設定を複数登録した場合

接続先設定の複数登録のしかたは、本商品に付属の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」(HTML ファイル)の「4. Web 設定」をご覧ください。

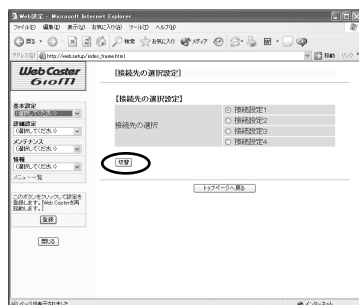
接続先の選択をすることができます。

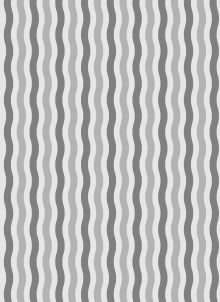
- 1 Web 設定画面を開く



- 2 「基本設定」の▼をクリックし、「接続先の選択設定」を選択する

- 3 すでに登録した接続先を選択し、「切替」をクリックする





4

付録

4-1	故障かなと思ったら	4-2
4-2	本商品の初期化	4-8
4-3	本商品のバージョンアップ	4-9
4-4	インタフェース	4-11
4-5	用語集	4-12
4-6	索引	4-14
4-7	仕様一覧	4-15
4-8	保守サービスのご案内	4-18

4-1 故障かなと思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。
該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご確認ください。

本商品前面の PWR ランプは点灯していますか？ → NG (a 参照)

↓ OK

本商品前面の ADSL ランプは点灯していますか？ → NG (b 参照)

↓ OK

本商品前面の LAN ランプは点灯していますか？ → NG (c 参照)

↓ OK

パソコンの IP アドレスが設定されていますか？ → NG (d 参照)
(IP アドレスの確認方法は、2-8 ページを参照してください)

↓ OK

Web ブラウザで設定画面が表示されますか？ → NG (e 参照)

↓ OK

設定後、本商品前面の PPP ランプが点灯していますか？ → NG (f 参照)

↓ OK

インターネットに接続できましたか？ → NG (g 参照)

上記の症状確認は、ルータモードでご使用の場合です。

ブリッジモードでご使用の場合は、本商品の PPP ランプは点灯しません。

a. 本商品前面の PWR ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
PWR ランプが点灯しない	● 電源アダプタ（電源プラグ）が壁のコンセントから外れていないか確認してください。 ● 電源が入っていることを確認してください。 ● 電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。） ● 電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b. 本商品前面の ADSL ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
ADSL ランプが遅い点滅のままで変化しない	● ADSL 回線の開通工事が完了していないことが考えられます。開通工事が完了しているか確認してください。 ● 接続しているポート（本商品の ADSL 回線ポート）は正しいかを確認してください。 ● 付属の電話機コードをしっかりと接続してください。本商品、スプリッタおよび回線用モジュージャックに正しく差し込まれているかを確認してください。 その後 2 分たっても ADSL ランプが点灯しない場合は、下記にて切り分けを行ってください。 < 電話を使用しない場合（スプリッタ無しタイプ） > サービスを受けられない状態か、または ADSL 回線の設定に問題があることが考えられます。プロバイダに ADSL 回線工事が完了しているか確認してください。 < 電話を使用する場合（スプリッタ有りタイプ） > スプリッタを外して、本商品と ADSL 回線のモジュージャックとを直接接続してみます。（『1-6 電話機をつなぎ、ADSL 回線に接続する』1-8 ページ） - ADSL ランプが点灯した場合 スプリッタ接続に問題があることが考えられます。再度スプリッタを使用して接続してみて改善されない場合は、スプリッタおよび電話機に問題があることが考えられます。 - ADSL ランプが点灯しない場合 サービスを受けられない状態か、または ADSL 回線の設定に問題があることが考えられます。プロバイダに回線工事が完了しているか確認してください。
ADSL ランプが速点滅後、点灯せずに遅点滅に戻ってしまう	● ウォールジャック（モジュージャック）からスプリッタ間でブランチ（分岐）させていないか確認してください。 ● モジュージャックが複数ある場合、電話機をつなぐ際には、スプリッタの増設が必要になる場合があります。また、スプリッタを増設してもうまくいかない場合は、宅内工事が必要になる場合があります。 ● 電話機が複数台接続されているときは、1 台にしてください。 ● セキュリティアダプタやガス検知器などが接続されている場合は、ADSL 回線と併用できない場合があります。詳しくは、管理会社、住宅管理会社にお問い合わせください。 ● お客様の設置場所が当社局舎から離れている場合は、お使いにならないことがあります。 ADSL はノイズにより左右されますので、下記にて確認してみてください。 ・電源アダプタ（電源プラグ）を延長ケーブルではなく、壁のコンセントに接続して確認してください。（電源アダプタのケーブルは出荷時の折れ曲がりに従って電源アダプタ側に短く束ねてください。） ・ADSL 回線ケーブルから本商品までの距離をなるべく短くなるように設置して確認してください。（ADSL 回線ケーブルは出荷時の折れ曲がりに従って短く束ねてください。） ・電源ケーブルと ADSL 回線ケーブルが並行しないように設置して確認してください。 ・ウォールジャック（モジュージャック）からスプリッタ間でブランチ（分岐）させていないか確認してください。 ・モジュージャックが複数ある場合、電話機をつなぐ際には、スプリッタの増設が必要になる場合があります。また、スプリッタを増設してもうまくいかない場合は、宅内工事が必要になる場合があります。



当社、故障受付へお問い合わせください。

c. 本商品前面の LAN ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
LAN ランプが点灯しない	● 本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ● LAN ボードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ● LAN ケーブルが本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ● 本商品に付属している LAN ケーブルをお使いください。 ● 再度本書の『2-5 パソコンの接続と確認』(2-7 ページ) を参照して配線の確認をしてください。また、パソコンが LAN カード/ボードを認識しているかを確認してください。

➡ 各パソコンメーカーもしくは当社のサービス取扱所、販売店へお問い合わせください。

d. パソコンの IP アドレスが設定されていない

症 状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが「192.168.1.x」に設定されていない	● パソコンの設定が「IP アドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。起動後、2-8 ページ以降を参照して再度パソコンの IP アドレスを確認する。 b. 本書 2-1 ページ以降を参照して、パソコンのネットワークの設定を行う

➡ 各パソコンメーカーへお問い合わせください。

e. Web ブラウザで設定画面が表示されない

症 状	原因と対策
パソコンから本商品に接続できない	パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、『2 パソコンのネットワーク設定』(2-1 ページ) を参照して確認してください。
Web ブラウザで設定画面が表示されない	Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、本商品の Web 画面が表示されないことがあります。
Web 設定画面が開けない または、Web 画面操作が正常にできない	お使いのブラウザの設定で JavaScript® を有効に設定してください。 複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割りつけたパソコンから本商品を設定するには「http://web.setup/」と入力しても Web 設定画面は開きません。Web ブラウザのアドレスに、接続事業者またはプロバイダから割りあてられた本商品のグローバル IP アドレス (例えば http://200.200.200.1/) を入力してください。

➡ 各パソコンメーカーへお問い合わせください。

f. 本商品前面の PPP ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
PPP ランプが点灯しない	● プロバイダから送られている ID もしくはパスワードがあっていることを確認してください。 ● ユーザー名とパスワードが間違っている → ADSL インターネット接続のユーザー名は、「*****@*****.ne.jp」のように@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザー名とパスワードを再確認して正しく設定してください。 ● 選択された接続リストにユーザー名とパスワードが入っていることを確認してください。
PPP ランプが遅い点滅をしている	ユーザー名とパスワードを再度確認してください。 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 ユーザー名：半角、全角 パスワード：半角、全角、大文字、小文字 をあわせてください。
PPP ランプが速い点滅をしている	当社の設定を再度確認してください。「Web 設定」の「接続先設定」にて確認できます。



ご契約のプロバイダへお問い合わせください。

g. インターネットに接続できない

症 状	原因と対策
接続が成功してもホームページが開けない	● ネームサーバ (DNS サーバ) アドレスが間違っている → 自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたネームサーバ (DNS サーバ) アドレスをプロバイダからの情報に従って「Web 設定」画面のネームサーバ (DNS サーバ) アドレスの欄に入力してください。 ● Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、本商品の Web 画面が表示されないことがあります。



ご契約のプロバイダへお問い合わせください。

ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
ADSL 接続が時々切れてしまう	● 設置場所が当社局舎から離れていたり、幹線道路や鉄道のそばだと、通信が切断される場合があります。 ● 冷蔵庫・TV・電子レンジなど、ノイズを発生させる要因がある機器の上や横に置かれている場合は、その機器から離してください。 ● セキュリティ装置が設置されていませんか？ 宅内にセキュリティ装置が設置されている場合は別途配線工事が必要になる場合があります。特に集合住宅の場合は、管理会社、管理組合にお問い合わせください。(火災報知器・ガス検知器など)(1) ● 保安器の問題の可能性があります。 保安器の一部(6PTという種類)などでは、電話着信時にADSL回線が切断もしくは著しく速度低下することがあります。局番なしの113番に電話をして保安器の種類を確認してください。また、6PT保安器の場合は、保安器の交換が必要になる場合があります。詳しくは局番なしの113番にお問い合わせください。
通信速度が遅い	次のような場合には、十分な速度が出ないことがあります。当社に回線の収容替えを要求すると通信速度が速くなることがあります。(有料)(1) ・お客様の設置場所が当社局舎から離れている ・お客様の設置場所が幹線道路や鉄道のそばである
途中から通信速度が遅くなった	● ADSL回線にアマチュア無線、CB無線、放送、電車、電力線などのノイズが入った場合、通信速度が遅くなることがあります。(1) ● ADSLとISDNを併用する場合、回線の問題があり、速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。(1)
通信が切断されることがある	次のような場合には、切断されることがあります。 ・お客様の設置場所が幹線道路や鉄道のそばである ・電話回線に着信があった場合

(1)  当社、故障受付へお問い合わせください。

症 状	原因と対策
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.1.xxx は、ハードウェアのアドレスが...と競合しています。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	● [OK] をクリックして次の手順でIP アドレスを取り直してください。 なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 Windows® XP の場合 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押します。 IP アドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 Windows® 2000 の場合 [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押します。 IP アドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 Windows® Me/98/95 の場合 [スタート] - [ファイル名を指定して実行 (R)] をクリックします。 「winipcfg」を入力して [OK] をクリックします。 Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用している Ethernet アダプタ名を選択します。 [解放 (S)] をクリックして、IP アドレスが 0.0.0.0 になることを確認します。「IP アドレスはすでに解放されています」と表示されたときは、[OK] をクリックして へ進んでください。 [書き換え (N)] をクリックして、IP アドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。
前回ではできたのにインターネット接続ができない	● 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。 5 秒以上の間隔をあけてから電源をいれてください。 パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。 起動後、2-8 ページ以降を参照して再度パソコンの IP アドレスを確認する。 b. 次の手順で IP アドレスを取り直してください。 Windows® XP の場合 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 「ipconfig /renew」と入力して、[Enter] を押します。 IP アドレスが「192.168.1.xxx」になることを確認します。 Windows® 2000 の場合 [スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト] をクリックします。 「ipconfig /renew」と入力して、[Enter] を押します。 IP アドレスが「192.168.1.xxx」になることを確認します。 Windows® Me/98/95 の場合 [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックします。 「winipcfg」と入力して [OK] をクリックします。 Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用している Ethernet アダプタ名を選択します。 「解放」をクリックして、IP アドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認します。「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは [OK] をクリックして、 へ進んでください。 「書き換え」をクリックして、IP アドレスが「192.168.1.xxx」になることを確認します。



各パソコンメーカーへお問い合わせください。

4-2 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。Web 設定で初期化することもできます。詳細は本商品に付属の CD-ROM 内に収録されている「機能詳細ガイド」(HTML ファイル)の「4. Web 設定」をご覧ください。本商品がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合やパスワードを忘れたり、IP アドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

■ 設定初期化について

本商品の設定初期化は、下記の手順で行います。

- 1 いったん本商品の電源アダプタを抜く
- 2 本商品の電源アダプタを差し込む
- 3 PPP ランプが点灯している間に INIT スイッチを押す（本商品の PWR ランプ以外の全てのランプが点滅を開始するまで押し続ける）
本商品のランプが全点灯して工場出荷状態に初期化されます。
ADSL ランプが点滅を開始したら、初期化は完了です。

初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

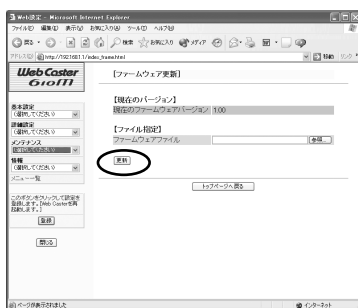
4-3 本商品のバージョンアップ

最新版のファームウェアをダウンロードし、本商品をバージョンアップします。

1 最新のファームウェアを当社のホームページよりダウンロードする

2 Web 設定のページを開く

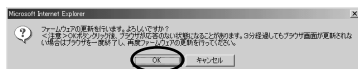
3 [メンテナンス]の▼をクリックし、[ファームウェア更新]をクリックする



4 [参照]をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

【現在のバージョン】には、現在のファームウェアのバージョンが表示されています。

5 [更新]をクリックし、[OK]をクリックする



画面は、Windows®でInternet Explorerの場合の例です。

しばらくすると、Web 設定画面に「ファームウェア更新中のため絶対に電源をOFFにしないでください」と表示されます。

6 [OK]をクリックする
PWR ランプが緑色に点灯していることを確認してください。



画面は、Windows®でInternet Explorerの場合の例です。

② こんなときには

バージョンアップが終了しても、PWR ランプが緑色に点灯しない

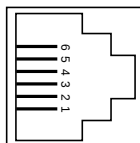
バージョンアップの途中で本商品の電源を切るなどの原因で、バージョンアップに失敗しています。もう1度やり直してください。



- バージョンアップを行うと通信は切断されます。
- バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。
- 本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書の記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書もバージョンアップされ、pdf ファイル形式で、当社のホームページに公開されます。最新の取扱説明書が必要なときは、こちらも含わせてダウンロードしてください。

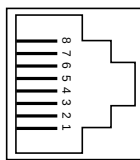
4-4 インタフェース

コネクタ形状



● 回線ポート

ピン番号	略称	入出力
1	-	未使用
2	-	未使用
3	L2	入力/出力
4	L1	入力/出力
5	-	未使用
6	-	未使用



● LAN ポート (100BASE-TX / 10BASE-T)

ピン番号	略称	入出力
1	TD +	入力
2	TD -	入力
3	RD +	出力
4	-	未使用
5	-	未使用
6	RD -	出力
7	-	未使用
8	-	未使用

4-5 用語集

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている「用語解説」を参照してください。

【アルファベット順】

ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。
上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速で安価な常時接続環境を提供する。

DHCP サーバ

(Dynamic Host Configuration Protocol)
TCP/IP プロトコルを使用する各機器は、固有の IP アドレスを持つ必要があります。DHCP は、IP アドレスを各端末に自動的に割り振るためのプロトコル。DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合、IP アドレスに加えて、デフォルトゲートウェイやドメイン名など、IP アドレス以外の情報も取得可能であり、ネットワークの設定、管理が容易になる。

DNS(Domain Name System)

IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。

IP アドレス

インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32 bit の値をもち、8 bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する(例: 192.168.1.10)。

IP マスカレード

NAT (IP アドレス変換) 機能の 1 つで、ポート番号を動的に割り当てることにより、1 つの WAN 側アドレスに対して複数の LAN 側の端末を接続することが可能となる機能。

LAN

Local Area Network の略。1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。

MAC アドレス

ネットワーク上で機器の区別をするためにハードウェア (LAN カードなど) につけられた固有のアドレスです。利用者がこのアドレスの値を決めることはできない。

PPP

Point to Point Protocol の略。遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や ISDN ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。

PPPoE

PPP over ETHERNET の略。ADSL などの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術です。ETHERNET 上でダイヤルアップ接続 (PPP 接続) と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行う。

TCP/IP

(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)
インターネットや LAN で一般的に使われているプロトコル。

10BASE-T	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、10 Mbit/s の伝送速度をもつ。
100BASE-TX	Ethernet の通信方式の 1 つで、ツイストペアケーブルを使い、100 Mbit/s の伝送速度をもつ。

【あいうえお順】

【か行】

クライアント	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。
--------	---

【さ行】

サーバ	LAN などを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上では Web サーバがホームページ情報を提供する。
静的 IP マスカレード	IP マスカレード使用時に、設定したポート番号の変換を行わないようにする機能で、LAN 側の端末を特定します。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。

【は行】

プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束ごと。
-------	--

【ら行】

ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。
-----	-------------------------------------

[A ~ Z]

ADSL 回線に接続する	1-8、1-10
ADSL スプリッタ	1-2、1-8
ADSL モデム	2-7
ADSL ランプ	1-3
CD-ROM	15
DATA ランプ	1-3
HUB	2-7、 
INIT スイッチ	1-4
IP アドレス	2-8、3-2、 
IP アドレスの確認	
Macintosh® の場合	2-10
Windows® 2000 の場合	2-8
Windows® Me/98/95 の場合	2-9
Windows® XP の場合	2-8
IP パケットフィルタリング	
IP マスカレード機能	
LAN ケーブル	1-2、2-7
LAN ポート	1-4、2-7、4-11
パソコンの LAN ポート	1-5
LAN ランプ	1-3
Microsoft ネットワーク	
PPP ランプ	1-3
PWR ランプ	1-3
UPnP 機能	
Web 設定	3-2
Web ブラウザ	1-5

[ア行]

アース端子	1-4、1-8、1-10
アドバンスド NAT	
インタフェース	4-11

[カ行]

回線ポート	1-4、1-8、1-10
機能詳細ガイド	13
共有する	
ファイルとプリンタを ~	
クライアント	
故障かなと思ったら	4-2

固定 IP アドレス	
コンピュータ名 / ワークグループ名	

[サ行]

サーバ	13、4-13
仕様一覧	4-15
初期化	4-8
スタンド	1-2、1-7
接続	
ADSL 回線に ~ する	1-8、1-10
LAN に ~ するための準備	
インターネットに ~ する	3-4
本商品とパソコンの ~ を確認する	2-8
本商品とパソコンを ~ する	2-7
設置する	1-7
設定する	
パソコンのネットワークを ~	2-1
Mac® OS	2-6
Windows® 2000	2-3
Windows® Me/98/95	2-4
Windows® XP	2-2

[ナ行]

ネットワークコンポーネント	
ネットワーク対応アプリケーション	

[ハ行]

パスワード	3-2、 
ポートマッピング機能	
保守サービス	4-18

[ヤ行]

ユーザー名	3-2
用語集	4-12

4-7 仕様一覧

■ Web Caster 610M

■ ハードウェア仕様		
項 目		仕 様
WAN インタ フェース	物理インタ フェース	6 ピンモジュージャック (RJ-11)
	ポート数	1 ポート
	規格	ITU-T G.992.1 (G.dmt) Annex C ITU-T G.992.2 (G.lite) Annex C
LAN インタ フェース	物理インタ フェース	8 ピンモジュージャック (RJ-45)
	ポート数	4 ポート (スイッチングハブ内蔵)
	規格	100BASE-TX / 10BASE-T (IEEE802.3u / 802.3)
	全二重 / 半二重	オートネゴシエーション
	MDI / MDI-X	MDI-X 固定
ランプ 表示	ADSL	ADSL リンク確立時点灯
	PPP	セルフテスト時点灯 (テスト完了時消灯) PPP セッション確立時点灯
	LAN	LAN リンク確立時点灯 (背面にポート毎のランプ表示有り)
	DATA	LAN データ通信時点灯
	PWR	電源通電時点灯
操作部	INIT	設定初期化用スイッチ
筐体外観	縦置き型	
動作環境	温度: 5 ~ 40 湿度: 5 ~ 85 % (結露しないこと)	
外形寸法	約 35 (W) × 176 (D) × 181 (H) mm (突起部分を除く)	
電源	AC100 V ± 10 V 50/60 Hz	
消費電力	最大 14 W	
質量	約 0.8 kg (電源アダプタ含む)	
電磁妨害波規格	VCCI クラス B	

4

付
録

(次ページに続く)

■ ソフトウェア仕様

項 目		仕 様
ルータ機能	WAN プロトコル	PPPoE (PPP over Ethernet)
	PPP 認証	自動認証 (CHAP/PAP) / CHAP 固定 / PAP 固定
	PPP 接続 / 切断	常時接続 (自動接続) / 要求時接続 (無通信時切断)
	接続先登録	4 箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング (最大 40 経路) ダイナミックルーティング (RIP / RIP2) : LAN 側のみ
	DHCP サーバ機能	有り (最大 253 アドレス割当)
	Proxy DNS 機能	有り (LAN 側 DNS サーバ指定可)
	IP マスカレード機能	最大 2048 セッション
	ポートマッピング機能	有り (ポート番号の範囲指定可)
	ユニバーサルプラグ&プレイ (UPnP) 機能	有り
	DMZ ホスト機能	有り (LAN 側 IP アドレス指定による)
	複数固定 IP アドレスサービス対応機能	有り
	パケットフィルタ機能	フィルタ種別、送信元 IP アドレス、宛先 IP アドレス、プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、方向指定可能
	セキュリティ保護機能	不正アクセス拒否機能 (LAND 攻撃、smurf 攻撃、IP Spoofing 攻撃)、不正アクセス検出機能 (LAND 攻撃、smurf 攻撃、IP Spoofing 攻撃)
ブリッジ機能	ブリッジ対象	PPPoE パケット
設定・保守機能	設定方法	Web ブラウザによる設定・保守
	状態表示機能	ADSL モデム状態、WAN 側 IP アドレス、バージョン情報他
	時計機能	有り (NTP サーバによる自動時刻設定可)
	ログ機能	有り
	設定値の保存・復元機能	ファイルに保存、ファイルからの復元
	ソフトウェアバージョンアップ機能	Web ブラウザを使用

■ ADSL スプリッタ - N 3 (付属品)

■ 仕様			
項 目			仕 様
インタフェース	回線インタフェース	物理インタフェース	6 ピンモジュラージャック (RJ-11)
		ポート数	1 ポート
	回線インタフェース	物理インタフェース	6 ピンモジュラージャック (RJ-11)
		ポート数	1 ポート
	電話機用インタフェース	物理インタフェース	6 ピンモジュラージャック (RJ-11)
		ポート数	1 ポート
適用回線			フレッツ・ADSL、ADSL 接続サービス
外形寸法			約 43 (W) × 58 (D) × 24 (H) mm (突起部分を除く)
質量			約 50 g
動作環境			温度：5 ～ 40 湿度：5 ～ 85 % (結露しないこと)

4-8 保守サービスのご案内

- 保証について

保証期間（１年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

- 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

- 故障の場合は

故障した場合は以下へお問い合わせください。

- NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）の方

お問い合わせ先： ☎ 0120-242751

- NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）の方

お問い合わせ先： ☎ 0120-248995

- 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

- 廃棄方法に関して

本商品を廃棄する時は、地方自治体の条例に従って処理してください。

詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：☎0120 - 109217

トークニーナ

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2002 NTTEAST・NTTWEST



本2349-1 (2002.10)
WBC 610Mトリセツ